



一般社団法人
日本スポーツツーリズム推進機構

目次



1. 事業一覧	2
2. 活動一覧(抜粋)	4
3. 第10回スポーツ振興賞	10
4. SPORTEC 2022	19
5. Japan Sports Week 2022	20
6. JSTA10周年記念 第11回スポーツツーリズム・コンベンション	21
7. JSTA ウェビナー	31
8. スポーツ庁「地域スポーツコミッション基盤人材育成サポート事業」	34
9. 栃木県「とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略(仮称)」策定に係る 基礎調査及びマーケティング戦略案作成業務	36
10. ヘルスツーリズム認証	40
11. 千代田ツーリズムイノベーションベース(CTIB)	42
12. YouTube チャンネル(動画配信の活用)	43
13. 2022年度 JSTA 会員一覧(法人・公益法人・自治体・スポーツ団体)	44

1 | 事業一覧



JSTA

●自主事業・後援・協力

月	日	区分	事業名	場所	担当
4-8		協力	Taiwan Sports Events Workshop 2.0	中華民国台北市	
5	11-13	後援 出展	Japan Sports Week 2022	東京ビックサイト	JSTA 事務局
	14-15	後援	2022 FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Opener	宇都宮市	
	14-15	後援	2022 ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会	山下公園周辺	
	19	講演	第6回 アドベンチャーツーリズム・シンポジウム	メトロポリタン長野	中山事務局長
7	11	協力	「Think Sport(シンクススポーツ)」ポッドキャスト配信開始	オンライン	
	13	協力	2022 Sport Event Taiwan Workshop Courses11 (講師:倉田知己氏<個人正会員>)	オンライン	中山事務局長
	27-29	共催 出展	SPORTEC2022	東京ビックサイト	JSTA 事務局
	27	協力	2022 Sport Event Taiwan Workshop Courses12 (講師:大阪体育大学 藤本淳也氏)	オンライン	中山事務局長
	28	自主事業	SPOREC JSTA セミナー	東京ビッグサイト	JSTA 事務局
9	15	出版	書籍『実践 スポーツツーリズム』発刊		
	16	自主事業	第1回 JSTA ウェビナー 「実践スポーツツーリズム 出版記念セミナー」	オンライン	JSTA 事務局
	16-18	後援	国際スポーツ&ウェルネスウィークエンド	東京ビッグサイト	
10	1	後援	インターカレッジ・コンペティション 2022(期間:10/1~12/31) 審査員長:原田会長		
	9	後援	大阪城トライアスロン 2022	大阪市	
11	2	自主事業	第2回 JSTA ウェビナー	オンライン	JSTA 事務局
	6	後援	J:COM presents 2022 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム	さいたま市	
	26	後援	ボッチャ交流会 第3回ハチ公オープン	大館市	
12	12	自主事業	第3回 JSTA ウェビナー	オンライン	JSTA 事務局
2	16	協力	2023 APEC SPORT POLICY NETWORK DIALOGUE X HYPE GLOBAL VIRTUAL ACCELERATOR TW DEMO DAY	WITH HARAJUKU	中山事務局長・ 瀧山
3	15	後援	日本ゴルフツーリズム推進協会: アジアゴルフツーリズムコンベンション 2023	宮崎フェニックス・ シーガイア・リゾート	原田会長・ 中山事務局長
	15	自主事業	JSTA10 周年記念 第11回スポーツツーリズム・コンベンション	有明アリーナ	JSTA 事務局

●受託事業・委員就任

区分	事業名	担当
受託事業	スポーツ庁:「地域スポーツコミッション基盤人材育成サポート事業」	JSTA
受託事業	栃木県:「とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略」策定に係る基礎調査及びマーケティング戦略案作成業務	JSTA
受託事業	大館市スポーツ振興課:「スポーツツーリズム講習会」運営業務	原田会長・中山事務局長
顧問	アジアゴルフツーリズム・コンベンション (AGTC) 2023 実行委員会	原田会長
委員	神奈川県スポーツ局:スポーツツーリズムに関する有識者会議	中山事務局長
委員	千葉県スポーツ・文化局:「スポーツによる地域活性化支援事業」選定審査委員会 「スポーツによる地域活性化支援事業業務委託」事業 協議会	中山事務局長
委員	山梨県スポーツ振興局:「スポーツ推進審議会」「指定管理候補者選定委員会」	中山事務局長
委員	日本工学院:2022 年度上期 教育課程編成委員会	中山事務局長
委員	宇都宮市:第1回事業者選定委員会	滝田

2 | 活動一覧（抜粋）



月	日	区分	活動	場所	担当
4	7	出席	スポーツ立国調査会「スポーツ・ホスピタリティPT」	自民党本部	中山事務局長
	8	打合せ	銚子: デジタル田園都市構想交付金事業: 超人スポーツ協会	さるだ学集館	中山事務局長
	14	打合せ	秋田県大館市: スポーツツーリズム講習会の実施(業務委託)	オンライン	中山事務局長
		打合せ	神奈川県スポーツ課	JSTA 事務局	中山事務局長
		出席	スポーツ立国調査会「スポーツ・ホスピタリティPT」	自民党本部	中山事務局長
	19	講演・講義	スポーツ健康産業団体連合会: オンラインセミナー「スポーツによる地域活性化の可能性に迫る」	オンライン	中山事務局長
	22	打合せ	出雲スポーツ振興21	JSTA 事務局	JSTA 事務局
	26	打合せ	MLB ジャパン: US-JPN Council	MLB ジャパン オフィス	原田会長・ 中山事務局長
	27	委員・会議	日本ゴルフツーリズム推進協会: 第3回 JGTA 提言内部委員会	オンライン	中山事務局長
	28	打合せ	東武トップツアーズ	JSTA 事務局	JSTA 事務局
5	1	打合せ	神奈川県スポーツ課	オンライン	中山事務局長
		委員・会議	福岡県スポーツコミッション 運営委員会	オンライン	原田会長
	6	打合せ	名古屋市スポーツ戦略室	JSTA 事務局	原田会長
	13	講演・講義	スポーツビジネス産業展 特別講演「アフターオリパラのスポーツ地域マネジメント ～令和のスポーツまちづくりについて～」	東京ビックサイト	原田会長
	17	スポーツ庁事業	「スポーツによる地域活性化・まちづくり担い手育成総合支援事業」採択自治体説明会	オンライン	JSTA 事務局
	24	委員・会議	神奈川県: スポーツツーリズムにかかる有識者会議	神奈川県庁	中山事務局長
	26	理事会	日本ゴルフツーリズム推進協会: 理事会	オンライン	中山事務局長
		掲載・出演	月刊『コロンブス』2022年6月号		原田会長
6	1	視察	鴨川市: 銚子スポーツタウン視察同行	銚子市	中山事務局長
		委員・会議	スポーツ庁: コンテンツ創出プロジェクト会議	東京都内	原田会長
	3	委員・会議	第10回スポーツ振興賞選考委員会	東京都内	原田会長・ JSTA 事務局
	4	掲載出演	テレビ愛知「林修×スポーツ×SDGs」	テレビ	原田会長
	7	調査	宮古島市: 「閑散期におけるスポーツ合宿誘致検証委託業務」に関するヒアリング 調査協力	オンライン	中山事務局長
		スポーツ庁事業	佐賀県武雄市	武雄市	滝田
	8	常任理事会	第47回常任理事会	オンライン	
	9	スポーツ庁事業	長野県長和町	長和町	中山事務局長
	15-18	スポーツ庁事業	北海道壮瞥町・名寄市・美瑛町	壮瞥町・名寄市・美瑛町	中山事務局長

6	22	委員	千葉県:「スポーツによる地域活性化支援事業」 選定審査委員会	千葉県庁	中山事務局長
	23	講演・講義	日本経済社:リゾートビジネス研究会	中央区	中山事務局長
	24	理事会	第 38 回理事会	JSTA 事務局・ オンライン	
		総会	2022 年度 定時社員総会	ステーションコン ファレンス万世 橋・オンライン	JSTA 事務局
	27	スポーツ庁事業	スポーツコミッション大館 総会	大館市	中山事務局長
		スポーツ庁事業	沖縄県石垣市	石垣市	藤原・滝田
	28	スポーツ庁事業	沖縄県沖縄市	沖縄市	藤原
7	29	打合せ	千代田区観光協会	JSTA 事務局	JSTA 事務局
	1	委員・会議	スポーツ庁:コンテンツ創出プロジェクト会議	東京都内	原田会長
	1-2	スポーツ庁事業	鹿児島県大崎町	大崎町	滝田
	4-5	スポーツ庁事業	金沢文化スポーツコミッションヒアリング	金沢市	藤原・滝田
	6-7	スポーツ庁事業	山梨県韮崎市	韮崎市	藤原
	7	委員・会議	日本ゴルフツーリズム推進協会:第4回提言内部委員会	オンライン	中山事務局長
	8	打合せ	栃木県:スポーツ振興課	栃木県庁	JSTA 事務局
	12-13	スポーツ庁事業	高知県	高知市	藤原・滝田
	13	スポーツ庁事業	長野県長和町 (視察同行)	立山町	中山事務局長
	18	掲載・出演	読売新聞オンライン「年1万人が合宿する地方都市も…スポーツ コミッション、地域振興で熱視線」	新聞 (オンライン)	藤原
	22	スポーツ庁事業	大阪スポーツコミッション ヒアリング	大阪市	藤原
	25	講演・講義	京都医健専門学校 特別講義	京都医健専門 学校	中山事務局長
		打合せ	栃木県:スポーツ振興課	栃木県庁	JSTA 事務局
		打合せ	広島県:コンベンション開催検討・下見	広島市	井塚
	26	委員・会議	千葉県:第1回「スポーツによる地域活性化支援事業業務委 託」事業 協議会	千葉市ホテルプ ラザ菜の花	中山事務局長
	27	スポーツ庁事業	沖縄県石垣市	石垣市	藤原
		表彰式	第10回スポーツ振興賞表彰式	東京ビックサイト	JSTA 事務局
		掲載・出演	「大学タイムズ」Vol.45 夏号 「スポーツ科学特集スペシャルイン タビュー」	雑誌	藤原
8	2-3	スポーツ庁事業	ツノスポーツコミッションヒアリング	都農町	藤原・滝田
	3	委員・会議	山梨県:スポーツ推進審議会	書面開催	中山事務局長
	5	打合せ	広島県:コンベンション開催検討	オンライン	JSTA 事務局
	9	委員・会議	栃木県:スポーツ振興課	栃木県庁	JSTA 事務局
		委員・会議	神奈川県:スポーツツーリズムに関する有識者会議	神奈川県庁	中山事務局長
	10	打合せ	広島県:コンベンション開催検討	オンライン	JSTA 事務局

8	19	委員	山梨県:「スポーツ推進審議会」質問書提出	書面開催	中山事務局長
	23	スポーツ庁事業	宮城県石巻市	石巻市	藤原
	23-24	講演・講義	秋田県大館市:講習会／市長 表敬訪問	大館市	原田会長・中山事務局長
	24	スポーツ庁事業	ソーシャルファームさんじょうヒアリング	三条市	滝田
	24-25	スポーツ庁事業	北海道壮瞥町・美瑛町	壮瞥町・美瑛町	中山事務局長
	25	出席	千代田区観光協会 総会	シャングリ・ラ東京	井塚
		出席	日本ゴルフツーリズム推進協会 理事会		中山事務局長
	26	講演・講義	栃木県:「第1回とちぎ地方創生推進会議」	栃木県庁 公館 大会議室	中山事務局長
	29	スポーツ庁事業	神奈川県松田町	松田町	中山事務局長
9	31	スポーツ庁事業	福岡県スポーツコミッション ヒアリング	福岡市	藤原
	7	委員・会議	千葉県:第2回「スポーツによる地域活性化支援事業業務委託」事業 協議会	オンライン	中山事務局長
		スポーツ庁事業	宮城県仙台市・角田市ヒアリング	仙台市・角田市	藤原
	8	委員	JSTA セミナー委員会	JSTA 事務局	
	9	打合せ	千代田区観光協会	JSTA 事務局	JSTA 事務局
	12	意見交換会	観光庁観光資源課 意見交換会	観光庁	中山事務局長・藤原・滝田
	13	常任理事会	第48回常任理事会	JSTA 事務局・オンライン	
		委員・会議	2022年度上期 日本工学院 教育課程編成委員会会議	日本工学院八王子専門学校	中山事務局長
		視察	有明アリーナ	有明アリーナ	JSTA 事務局
	14-15	スポーツ庁事業	静岡県沼津市ヒアリング・御殿場市	沼津市・御殿場市	滝田
	15	委員	山梨県:「指定管理候補者選定委員会」	山梨県庁	中山事務局長
	22	スポーツ庁事業	山梨県韮崎市	韮崎市	藤原
		視察	ツーリズム EXPO	東京ビッグサイト	JSTA 事務局
	27	スポーツ庁事業	岡山県・おかやまスポーツプロモーションヒアリング	岡山市	藤原
	28	打合せ	鹿児島県鹿屋市	JSTA 事務局	中山事務局長・滝田
	29	打合せ	岩手県雫石町	JSTA 事務局	中山事務局長
	30	スポーツ庁事業	宮城県石巻市	石巻市	藤原
		スポーツ庁事業	銚子スポーツタウンヒアリング	銚子市	中山事務局長・滝田
10	5-6	スポーツ庁事業	志摩スポーツコミッションヒアリング	志摩市	滝田
	6	打合せ	千代田区観光協会	東京都内	井塚
		視察	新国立競技場	新国立競技場	JSTA 事務局
	7	打合せ	名古屋市スポーツコミッション	JSTA 事務局	原田会長・JSTA 事務局
		打合せ	観光庁観光資源課	JSTA 事務局	原田会長

10	11	掲載・出演	JFN『OH! HAPPY MORNING』	ラジオ	原田会長
		スポーツ庁事業	福島県福島市ヒアリング	福島市	滝田
	12	ヒアリング	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 ヒアリング	国土交通省	井塚
	14	スポーツ庁事業	さいたまスポーツコミッションヒアリング	さいたま市	滝田
	16	モニター	山梨県スポーツ局:CYCLE ADVENTURE Fest. in Minami-Alps	南アルプス市	JSTA 事務局
	19	スポーツ庁事業	さいたまスポーツコミッション視察(石垣市同行)	さいたま市	藤原
		出席	日本ゴルフツアーリズム推進協会:理事会	オンライン	中山事務局長
	20-21	スポーツ庁事業	高知県土佐町スポーツコミッション ヒアリング	土佐町	藤原
	26	スポーツ庁事業	山梨県韮崎市	韮崎市	藤原
	28-30	講演・講義	2022 Sport Event Taiwan Workshop Exchange Meeting	中華民国台北市	原田会長
11	31	スポーツ庁事業	鹿児島県大崎町	大崎町	滝田
	1	スポーツ庁事業	「スポーツによる地域活性化・まちづくり担い手育成総合支援事業」中間報告会	オンライン	JSTA 事務局
	4	スポーツ庁事業	沖縄県石垣市	石垣市	藤原
	7	委員・会議	栃木県:有識者会議	栃木県庁	JSTA 事務局
	9	講演・講義	SPORTEC NAGOYA 基調講演	名古屋市	原田会長
	10-11	スポーツ庁事業	北海道教育大学 調査依頼	岩見沢市	藤原
	15-16	スポーツ庁事業	佐賀県スポーツコミッション、宇部市スポーツコミッションヒアリング	佐賀市、宇部市	藤原
	18	委員・会議	神奈川県:スポーツツーリズムに関する有識者会議	神奈川県庁	中山事務局長
		委員・会議	スポーツ庁:コンテンツ創出プロジェクト会議	東京都内	原田会長
		打合せ	熊本県水俣市:市長	JSTA 事務局	中山事務局長・滝田
	18-19	スポーツ庁事業	沖縄県沖縄市	沖縄市	藤原
	19	スポーツ庁事業	第1回茨城県知事杯スケートボード大会	笠間市	滝田
	22	打合せ	東武トップツアーズ	JSTA 事務局	井塚
	24	スポーツ庁事業	MINAKAMI TOWN.EXE ヒアリング	みなかみ市	滝田
	26	スポーツ庁事業	秋田県大館市	大館市	中山事務局長
	27-28	スポーツ庁事業	東北海道スポーツコミッションヒアリング	釧路市	中山事務局長・滝田
12	1	打合せ	ルーツスポーツジャパン	JSTA 事務局	JSTA 事務局
	3	スポーツ庁事業	空手道 Karatedo Mt.Fuji Junior Championship in Gotemba	御殿場市	滝田
	6	講演・講義	大阪体育大学	熊取町	藤原
		常任理事会	第 49 回常任理事会	オンライン	
	12	打合せ	新潟市文化スポーツコミッション	JSTA 事務局	中山事務局長
	13	講演・講義	中村学園大学	福岡市	中山事務局長

12	14	講演・講義	横浜商工会議所	横浜市	原田会長
	16	理事会	第 39 回理事会	JSTA 事務局・オンライン	
	19	スポーツ庁事業	高知県	JSTA 事務局	藤原
	22-24	スポーツ庁事業	北海道壮瞥町	壮瞥町	中山事務局長
	23	委員・会議	千葉県:「スポーツによる地域活性化支援事業業務委託」事業協議会	オンライン	中山事務局長
1	16-17	視察同行	宇部市スポーツコミッション:先進地視察先コーディネート・同行	福島市、さいたま市	藤原
	17-18	スポーツ庁事業	秋田県大館市	大館市	中山事務局長
	19	スポーツ庁事業	長野県軽井沢町	軽井沢町	藤原
	21	スポーツ庁事業	長野県長和町	長和町	中山事務局長
	23	打合せ	宮崎県観光経済交流局:アジアゴルフツーリズム・コンベンション(AGTC)2023	JSTA 事務局	中山事務局長
	24-25	スポーツ庁事業	鹿児島県大崎町	大崎町	滝田
	25	スポーツ庁事業	神奈川県松田町	松田町	中山事務局長
	27	打合せ	スポーツ庁参事官(国際担当)訪問	スポーツ庁	原田会長・中山事務局長
		委員・会議	スポーツ庁:コンテンツ創出プロジェクト会議	東京都内	原田会長
	31	スポーツ庁事業	愛媛県	松山市	藤原
2	1	出席	日本ゴルフツーリズム推進協会:理事会	オンライン	中山事務局長
	2	打合せ	栃木県:スポーツ振興課	栃木県庁	JSTA 事務局
	3	出席	スポーツ文化ツーリズムシンポジウム&4 省庁連携セミナー	東京・浅草橋ヒューリックホール	JSTA 事務局
	9	講演・講義	新潟県:令和4年度 新潟県スポーツツーリズム推進セミナー	オンライン	滝田
		打合せ	静岡県スポーツ局	JSTA 事務局	JSTA 事務局
	13	スポーツ庁事業	佐賀県武雄市	武雄市	滝田
	15	視察同行	APEC SPORT POLICY NETWORK 会議メンバー:来訪 中華民国教育部体育署:東京マラソン財団視察同行	JSTA 事務局・東京都内	中山事務局長
		講演・講義	宇都宮共和大学	宇都宮市	藤原
	20	スポーツ庁事業	神奈川県松田町	オンライン	中山事務局長
		スポーツ庁事業	秋田県大館市(打合せ)	JSTA 事務局	中山事務局長
	21	スポーツ庁事業	「地域スポーツコミッションシンポジウム 2023」	東京・浅草橋ヒューリックホール	
	22	スポーツ庁事業	土佐町スポーツコミッション	JSTA 事務局	JSTA 事務局
	27	スポーツ庁事業 講演・講義	沖縄県石垣市	石垣市	原田会長・藤原
	28	意見書	スポーツ庁:「大規模な国際又は国内競技大会の組織委員会等のガバナンス体制等の在り方に関する指針(案)」に対する意見書提出		原田会長・中山事務局長
3	2	常任理事会	第 50 回常任理事会	オンライン	
		視察	東京マラソン EXPO	東京ビッグサイト	井塚

3	3	出席	スポーツ庁 テーマ別モデル事業シンポジウム		原田会長
	4-7	スポーツ庁事業	北海道美瑛町・壮瞥町	美瑛町・壮瞥町	中山事務局長
	8	講演・講義	千葉市:スポーツによる地域活性化とパラスポーツの振興研修会	千葉市	中山事務局長
		講演・講義	栃木県:地域スポーツコミッション勉強会	オンライン	藤原
	13	委員・会議	宇都宮市:第1回事業者選定委員会	宇都宮市	滝田
		出席	MLB ジャパン:TOMODACHI-U.S. Embassy Go For Gold Sports Leadership Program 最終プレゼン&表彰式	六本木ヒルズクラブ	中山事務局長
	14	スポーツ庁事業	神奈川県松田町	オンライン	中山事務局長
	14-15	顧問	アジアゴルフツーリズム・コンベンション(AGTC)2023 ウェルカム・レセプション	宮崎フェニックス・シーガイア・リゾート	原田会長・中山事務局長
	15	委員・会議	千葉県:「スポーツによる地域活性化支援事業業務委託」事業協議会	オンライン	中山事務局長
	17	委員・会議	栃木県:有識者会議	栃木県庁	JSTA 事務局
		講演・講義	久喜市:スポーツコミッションの設立に関する勉強会	久喜総合文化会館	中山事務局長
	20	理事会	第40回理事会	JSTA 事務局・オンライン	
	24	委員・会議	山梨県:やまなしスポーツエンジン アドバイザー	山梨県庁	中山事務局長
		スポーツ庁事業	長野県長和町	長和町	中山事務局長
	27	打合せ	宮崎県 観光経済交流局	JSTA 事務局	中山事務局長
	30	出席	スポーツ庁参事官(国際担当):「大規模な国際又は国内競技大会の組織委員会等のガバナンス体制等の在り方検討プロジェクトチーム(第3回)」オブザーバー出席	東京都内	中山事務局長
		打合せ	中華民国教育部体育署・国立台湾師範大学 ヒアリング調査協力	JSTA 事務局	中山事務局長・瀧山
	31	スポーツ庁事業	神奈川県松田町	松田町	中山事務局長
		掲載	パラサポ WEB:「地方創生の起爆剤、スポーツツーリズム。約 30 億円の経済効果を生み出した成功の秘訣とは」	WEB	原田会長

3 | 第10回スポーツ振興賞



- 応募期間：2022年1月14日～4月30日（当日消印有効）
- 表彰式：7月27日「SPORTEC 2022」会場内において開催
- 応募件数：22件
- 受賞作品：

☆スポーツ振興大賞☆	
作品名	地域の魅力再発見！アプリを使った周遊イベント「シティロゲ」
応募者	一般社団法人 ITADAKI（広島県広島市）
作品の概要 コロナ禍において飲食店や観光施設などの客離れは地域にとって深刻な問題となっていた。一般社団法人 ITADAKI 代表の豊饒（ぶにゅう）は、コロナ禍に対応した取組が必要と考え、地域に賑わいを取り戻したい、地域の見所を多く周遊させたいという思いから、街中でロゲイニングをする発想に至った。ロゲイニングは通常野山を舞台に、地図やコンパスを利用し、各所に設置されたチェックポイントを時間内に高得点となるように回る競技で、オリエンテーリングと異なり回る順序が定まっていない。イベントでは GPS 専用アプリと地図を用いてゲーム感覚で街巡りが楽しめる。 チェックポイントではアプリ上で説明文が表示されクイズの出題も可能な為、地域に息づく文化や歴史を学ぶことができ、地域の魅力を再発見できる仕様になっている。チェックポイントの選定は自由であり「SDGs」や「映画のロケ地」などテーマを決めてイベント開催することで参加者満足も向上。チェックポイントには商店街や飲食店を積極的に取り入れ、参加者と地域住民との交流を創出し、地域一体となって活性化に取り組むことができる。多数メディアで特集が組まれるなど地域振興を目的としたイベントと広く認知されるようになり、自治体からも高評価を頂いている。	



【スポーツ振興大賞】
一般社団法人 ITADAKI



【日本スポーツツーリズム推進機構会長賞】
一般社団法人
宇部市スポーツコミッション

☆スポーツ振興賞（6作品）		
スポーツ庁 長官賞	作品名 応募者	江戸時代の街道を利活用！県内高齢者率一位の町が取り組む「因幡街道・千種川ロングライド」 佐用町観光協会（兵庫県佐用町）
	作品の概要 因幡街道・千種川ロングライド in 佐用、通称”いなちくロングライド”は、兵庫県佐用町を発着し同県宍粟市、岡山県西栗倉村と美作市の2市1町1村を跨ぐ約100kmの距離を走るサイクリングイベント。地域の交流人口拡大に向けて道の駅や農産物直売所等の地域資源を活用し、サイクリングを核とした地域の魅力発信と観光振興を目指し2016年から開始しました。 晩秋の紅葉あふれる自然景観と、地域の特産グルメをスポットで楽しみながら、そこに住む人々との交流を図るロングライド/グルメライド形式のイベントで、信号の少ない道で自然豊かな景色を楽しみつつ、勾配の厳しい道でのヒルクライムに挑戦できたり、希望者には愛車と共に山頂へと輸送してもらえる”ワープシステム”を利用できたりなど、初心者から中上級者まで幅広く楽しんでいただくことができるコース設計が特徴です。 地方の小規模なイベントではあまり見られない”ブランディング”へ注力したことが功を成し、サイクルツーリストの増加とそれに伴う消費活動の促進が見られるようになりました。このいなちくブランドを活用し、佐用町だけでなく今後の近隣エリアのサイクルツーリズムの発展に貢献していきます。	
観光庁 長官賞	作品名 応募者	ライダーの歓びを社会の喜びに～SSTRによる地域・社会の活性化～ 日本ライダーズフォーラム（東京都渋谷区）
	作品の概要 SSTRは、人類で初めて、北極・南極の両極点をオートバイで踏破し、このほかにも山岳・砂漠など、地球の自然を身体で受け止めてきた2輪冒険家、風間深志が提唱するアドベンチャーツーリングイベントです。冒険の中では常に、「自然の中で生かされている自分」に気づかされるという風間深志。バイクツーリングを通して日本の様々な風景に出逢い、そこに沸き立つ感動を多くの人々に味わってもらいたいという願いからSSTRは始まりました。 SSTRの合言葉は「Chasing the sun」。基本ルールは日本の東側の海岸線から日の出と共にバイクをスタートさせ、それが沈む石川県千里浜をゴールとして、太陽を追いかけるという単純明快なものです。日が昇り、日が沈む。その間には幾多の苦労があり、各々の工夫で切り抜けながら駆け抜ける走破する道のりはまるで人生にも似て、ゴールの夕日を目指してきた参加者の多くは水平線の彼方に沈む夕日に涙し、その日一日を生きた証を手に入れるのです。2013年に僅かな台数で始まったSSTRも、その感動が多くの人々に伝播し、ゴール地羽咋市のみならず、能登地方の人々の歓迎を受けながら、今や約8,800台が参加する日本一のバイクツーリングイベントになりました。今年開催10周年を迎えるSSTR。日本全国のライダーがその開催を心待ちにしており、そこに繰り広げられる千人千様の感動のドラマを受け止めようと、地元自治体の方々も大いに期待を寄せているところです。	

経済産業省 商務・サービス審議官賞	作品名 応募者	「リアル野球盤」普及活動 ～お婆さんもホームラン！健康づくりと地域振興に役立とう！～ リアル野球盤協会（静岡県島田市）
	作品の概要 リアル野球盤は、誰でもできるのが特徴です。楽しく運動してしまい、ホームラン時のハイタッチでは笑顔が溢れます。チャンス時の打席では快い集中心も味わえます。これらは介護予防に役立つ要因と言われており、健康づくりに役立ちます。また誰もが楽しめるので地域振興にも役立ちます。「またやりたい！」という多くの声に押され 普及活動が続けてきました。始めてから 13 年になりますが、この間 私たちの関わった体験会は大会も含め 260 回、参加者は 1 万人を超え、納品数は 22 都道府県へ 149 セットとなりました。 静岡県コミ推協の「コミュニティ活動賞」へ応募し「奨励賞」を受賞し、ガバメントピッチでは 西尾市の課題「高齢者のひきこもり」の対策に使って頂き 効果を検証しています。地元では≒20 チーム参加して 1 回／年のリアル野球盤大会も定着し（この 2 年間はコロナ禍で中止）、地元以外の地域で大会を開催しているという情報もあります。パートナーが増えてきたのも心強いです。マスコミ報道も地方版だけでなく全国版にも取り上げられ 60 回以上の回数を数えました。多くの好意的な感想も頂きました。夢は地元 島田市でのリアル野球盤全国大会開催です。	
日本商工会議所 奨励賞	作品名 応募者	ionotot（日本遺産「斎宮」ストレッチセラピー） 一般社団法人 明和観光商社（三重県多気郡明和町）
	作品の概要 「斎宮」が存在した世界唯一の地で体験する、天皇に代わって伊勢神宮の天照大神に仕えた皇女「斎王」のように凛とした姿勢と心を養うストレッチセラピー。ゆるやかな音楽に乗せて、インストラクター(日本ヘルスツーリズム振興機構公式アテンダント・コーディネーター)のクラシックバレエと日本舞踊をもとにした動きの真似をすることで、指先までリフレッシュ。 日本遺産「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」を健康づくりの舞台に、定期的に実施を重ねるうち、地元の方の共感が集まり、徐々に近隣市町・観光客の方も巻き込み、日本遺産が地域に根付いた身近な存在になってきている。 また、非日常的かつ解放的な空間で、呼吸を合わせてひとつのことに取り組むことで、地元の参加者の「地域の賑わい・観光を創出するひとり」という意識醸成にも繋がっている。当活動を含む、歴史的に見てもリフレッシュに適したフィールドを活用したツアーを「めいわととのいメソッド」として提案しており、「健康×観光」が地域に訪れるきっかけとなっている。	

日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞	作品名 応募者	スポーツうべたん 2021 春・秋 ～見て・知って・楽しむ スポーツ観光～ 一般社団法人宇部市スポーツコミッション（山口県宇部市）
	作品の概要 スポーツうべたんは、宇部市内の観光資源とスポーツを組み合わせたプログラムになっており、大人も子どもも気軽に参加でき、地域の魅力が再発見できるとともに、観光を楽しむ要素があることで普段運動をしない人でも運動やスポーツに親しむきっかけづくりにもなっています。 また、地域の人々がパートナーとなりプログラムを計画、実施することで、イベント自体が宇部市オリジナルの新たな観光資源となってきました。継続した開催を通じて、スポーツうべたんのファンが増え、ファンの方々の口コミにより地域内外から新規の参加者を連れて来てくれるような相乗効果も生まれ、関係人口の増加も回を重ねるごとに増えていくことが期待できます。 また、コロナ禍で継続してイベントを実施していく中で、地域内で観光する需要が増えているように感じます。長距離移動を伴うような従来形式の観光は、心理的に感染拡大につながってしまう不安がありますが、地域内での観光は感染リスクを低減できる安心感があります。そんな理由もあり、コロナ禍において多くのイベントが中止している中、感染対策を講じながら開催した「スポーツうべたん 2021 秋」では、定員に対して8割以上の参加がありました。	
スポーツ健康産業団体連合会 会長賞	作品名 応募者	余暇活動は「させる」ものではなく「する」ものだ 龍ヶ崎市B＆G海洋クラブ（茨城県取手市）
	作品の概要 牛久沼水面を活用し、地元牛久沼を知ってもらいながら、陸域でのごみ拾い、環境保全活動や水面を浮遊するプラごみ回収にスポーツ器具を使うなどコロナ禍で活動が制限されている子供たちや、知的障害・発達障害のある若者を対象に、近隣地域の人たちを対象とした自然体験を楽しみながら余暇活動を支援しています。私たちの活動は地元牛久沼が茨城県観光の魅力創出に役立つようになると考えております。活動を続けている中で最近では活動に賛同する地域の大人も増え活動の輪が広がりつつあり、活動場所である牛久沼カッパの小径に散歩に訪れる人たちも増えてきました。水辺に慣れ親しむ子供が増え、それを見守る大人が増えることは弊クラブ活動にとっては大きな変化で、スタッフが増えることと共に「見守る」という安全面もアップしました。 この活動は、賛同する地域の大人たちが「余暇活動」を支える草の根活動の基盤となっています。そして与えられる余暇活動ではなく、余暇活動やボランティア参加は自らが「する」きっかけ作りになればいいと思い、これからも活動を続けてまいります。	

第10回

■応募方法

①エントリーシート

②本文(様式は特に定めませんが、下記内容を簡潔にお書き下さい。)

スポーツを通じた健康づくり及びスポーツを起爆剤としたツーリズムや産業振興・地域振興(まちづくり)の貢献、活動の経緯、活動組織の内容、特筆すべき点、今後の展開などの活動内容

③要約(②の本文を500字程度でまとめたもの)

④写真(写真は10枚程度以内、必ず説明文を書き添えてください。写真データがあればご送付ください。)

なお、動画素材の提出はご遠慮ください。(ホームページをお持ちの場合、URLを載せていただいても結構です。)

※応募書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

■選考方法

応募のあったものの中から、(公社)スポーツ健康産業団体連合会と(一社)日本スポーツツーリズム推進機構が共同で設置するスポーツ振興賞選考委員会において選考の上、決定します。

■ 選者基準

【健康づくり・まちづくり】スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをしているか。スポーツや障がい者スポーツを起爆剤としてツーリズムや産業振興、地域振興(まちづくり)に貢献しているか。

【市民参加】市民が積極的に参加できる仕組みがつくられているか。

【事業の健全性】事業の内容及び活動が健全であるか。

【交流・連携】国内外を問わず交流や連携が行われているか

【継続・発展】新しい生活様式に配慮する等、活動が継続的に行われ、将来の発展性が見られるか。

【評価】参加者、市民、自治体に評価されているか。

【望ましい事項】独創性に富んでいる。イメージ向上に貢献している。新聞、テレビ、ラジオ等で取り扱われている等。

■表彰内容

★スポーツ振興大賞 1点 …… 賞状、トロフィー、副賞20万円

★スポーツ振興賞 各1点 …… 賞状、トロフィー

- ・スポーツ庁長官賞(予定)
- ・観光庁長官賞(予定)
- ・経済産業省商務・サービス審議官賞(予定)
- ・日本商工会議所 奨励賞(予定)
- ・日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞
- ・スポーツ健康産業団体連合会 会長賞

■審査結果発表、表彰式、受賞者による事業発表

- ・審査結果の発表は令和4年6月下旬を予定。スポーツ健康産業団体連合会、日本スポーツツーリズム推進機構のホームページにおいて受賞者の活動内容を広く周知するとともに、報道機関にもプレスリリースすることにしております。
- ・表彰式は、令和4年7月27日(水)開催の「SPORTEC2022展示会(東京ビッグサイト/スポーツ健康産業団体連合会特別協力)」の席上を予定しています。(その時の状況により変更になる場合もございます。)
- ・表彰式後、受賞者による受賞事業の活動発表を予定しています。

【電子データ送付先・お問合せ】

公益社団法人スポーツ健康産団連合会 事務局（担当：上原）

住所：〒160-0004 東京都新宿区四谷2-4-1 ACN四ツ谷ビル8階 SPORTEC事務局 (TSOinternational) 内

TEL: 03-6434-9510 FAX: 03-6434-9511

E-mail : jshif@spo-danren.jp URL : <https://www.jsif.or.jp/>

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（担当：井塚）

TEL : 03-6441-2045 E-mail : info@sporttourism.or.jp

令和4年6月15日

第10回スポーツ振興賞の発表
～東京ビッグサイトで授賞式を開催～

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会（東京都新宿区）と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構〔JSTA〕（東京都千代田区）は、スポーツ振興賞選考委員会の審査を踏まえ、スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをし、ツーリズムや産業振興、地域振興（まちづくり）に大きく貢献した団体、企業等を顕彰するとして第10回スポーツ振興賞の各賞の授賞作品を発表します。

応募総数22件の作品の中から最も優れた作品に「スポーツ振興大賞」を、優れた作品に「スポーツ振興賞」として、スポーツ庁長官賞、観光庁長官賞、経済産業省商務・サービス審議官賞、日本商工会議所奨励賞、日本スポーツツーリズム推進機構会長賞、スポーツ健康産業団体連合会会長賞の6点を選定しました。授賞式は、来る7月27日（水）に東京ビッグサイト（東京都江東区）の会場で行います。

1. 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構は、スポーツ振興賞選考委員会で慎重、厳正に審査された結果を踏まえ、以下の作品を授賞作品として決定した。

★スポーツ振興大賞

作品名： 地域の魅力再発見！アプリを使った周遊イベント「シティロゲ」

応募者： 一般社団法人 ITADAKI （広島県広島市）

★スポーツ振興賞

○スポーツ庁 長官賞

作品名：江戸時代の街道を利活用！県内高齢者率一位の町が取り組む「因幡街道・千種川ロングライド」

応募者：佐用町観光協会（兵庫県佐用町）

○観光庁 長官賞

作品名：ライダーの歓びを社会の喜びに～SSTR による地域・社会の活性化～

応募者：日本ライダーズフォーラム（東京都渋谷区）

○経済産業省 商務・サービス審議官賞

作品名：「リアル野球盤」普及活動 ～お婆さんもホームラン！健康づくりと地域振興に役立つ！～

応募者：リアル野球盤協会（静岡県島田市）

○日本商工会議所 奨励賞

作品名：ionotot（日本遺産「斎宮」ストレッチセラピー）

応募者：一般社団法人 明和観光商社（三重県多気郡明和町）

○一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞

作品名：スポーツうべたん 2021 春・秋 ～見て・知って・楽しむ スポーツ観光～

応募者：一般社団法人宇部市スポーツコミッション（山口県宇部市）

○公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 会長賞

作品名：余暇活動は「させる」ものではなく「する」ものだ

応募者：龍ヶ崎市 B & G 海洋クラブ（茨城県取手市）

2. 選考委員の受賞作品に対する意見は次のとおり。

○作品名：地域の魅力再発見！アプリを使った周遊イベント「シティログ」

応募者：一般社団法人 ITADAKI （広島県広島市）

- ・ロゲイニングのシティ版として、地域の歴史・文化や商店街などの面白いスポットをゲーム感覚で巡り交流するという手法が面白く、参加者と地域住民との交流を創出しています。競技中の飲食可、1人平均 2,000 円の消費結果で、コロナ禍で疲弊した商店街などの復興にも貢献しています。2020 年呉市で初開催、以後中四国を中心にエリアを拡大し、2021 年 7 回、22 年 2 回、計 10 回開催するなど、野外分散型イベントのためにコロナ下でも継続的に実施されています。地域資源を活用し、地域に根差した活動であり、気軽にスポーツに親しむことのできる取組みです。

○作品名：江戸時代の街道を利活用！

県内高齢者率一位の町が取り組む「因幡街道・千種川ロングライド」

応募者：佐用町観光協会（兵庫県佐用町）

- ・ファンランのサイクリング版で、サイクルツーリズム×ブランディングの発想です。江戸時代に整備された旧道をサイクリングロードとして活用し、特産品を味わえるコースを設計し、地域の魅力の認知を高める工夫が見られます。過疎の地域と歴史的な因幡街道とその村並みを活用したサイクルイベントで、年々拡大させている実績が素晴らしいと思います。JR 線（姫新線）の廃止の危機もあるなか、頑張っている。地域との交流などを通じて、地域の消費喚起についても取り組みが継続的に実施できている点を評価します。

○作品名：ライダーの遊びを社会の喜びに～SSTR による地域・社会の活性化～

応募者：日本ライダーズフォーラム（東京都渋谷区）

- ・モータースポーツとしてのバイク文化の醸成を目的にした取組です。広範囲からの参加が可能であり、道の駅からの立ち寄り情報からも本企画が、スポーツツーリズムとして地域経済の活性化に貢献できている点を評価しました。参加人数は多く、日本全国から集客（5700 人）しており、今年で 10 年目の継続性のある取組みです。バイクツーリズムとしてイベント性もあり面白く、またライダーによる「一人ひとりで砂運動」等、環境保護活動も実施しています。宿泊などを通じた地域経済への貢献も期待できます。

○作品名：「リアル野球盤」普及活動

～お婆さんもホームラン！健康づくりと地域振興に役立とう！～

応募者：リアル野球盤協会（静岡県島田市）

・野球盤という親しみやすいゲームとスポーツを結びつけた、誰もが笑顔で参加することができるユニークなスポーツです。リアル野球盤は楽しく、運動と健康づくりに役立っております。

健全性、独創性があり、体験会が延べ 260 回を超えており継続性もあります。また、西尾市が課題としている「高齢者のひきこもり」の対策として実証内容を検証している点、体力に自信のない人でも誰でも参加できる点、過去 13 年にわたって継続している点、高齢者でも楽しめる新しいレクリエーションの確立に尽力されている点を評価しました。

○作品名：ionotot（日本遺産「斎宮」ストレッチセラピー）

応募者：一般社団法人 明和観光商社（三重県多気郡明和町）

・参加女性と日本遺産「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」のストーリーの重ね合わせと独特な空間でのストレッチセラピーが面白いです。新たな観光資源の発掘・磨き上げに向けて、市民を巻き込み、地元にも愛される仕掛けづくりに取り組んでいます。史跡内では歴史ガイドの付いたノルディックウォーキングや宮殿遊び（貝覆い・盤雙六）が体験でき、日本遺産が健康づくりの場、ワーケーションの場、「Well-being」を実感する SDGs 推進の場となっています。年 82 回（平均 6.8 回／月）、延べ 829 人の参加（1 回平均 10 人程度）について、継続的に開催する力を評価しました。「健康×観光」の切り口は、with/after コロナでも集客効果に期待します。

○作品名：スポーツうべたん 2021 春・秋 ～見て・知って・楽しむ スポーツ観光～

応募者：一般社団法人宇部市スポーツコミッション（山口県宇部市）

・「スポーツうべたん」を通じて、市内の観光資源を活用し、健康づくりを目的とした運動などを組み合わせた着地型のスポーツ・ヘルスツーリズムで、宇部の新たな魅力の発見に繋がっています。スポーツコミッションと観光コンベンション協会等が連携した、観光まち歩き型のプログラムとして面白い試みと言えます。コロナ禍でも楽しめるコンテンツを生成したこと、年間 18 プログラムという多彩な企画内容を継続的に実践している点も評価します。観光資源の活用、域内の観光に期待でき、スポーツコミッションならではの視点が活かされております。

○作品名：余暇活動は「させる」ものではなく「する」ものだ

応募者：龍ヶ崎市 B & G 海洋クラブ（茨城県取手市）

・身近な湖沼での活動を通じて、地域の環境や暮らしの中の課題を子供たちに体得してもらう素晴らしい活動で、地域資源を最大限活用した取り組みです。SUP での水面清掃など、SDGs をテーマにした健康とスポーツの実践に取り組んでいる点、環境保全への貢献活動を展開している点、1,300 人／年をこえる参加を得る仕組みに発展していること、地域に根差し、誰もが参加しやすいことを評価しました。障がい者や子どもたちの水辺の自然体験と併せ、環境保全活動の体験としての意味合いも見受けられます。



▲受賞者集合写真（欠席団体は代理受賞）



▲会場内ブース：受賞団体パネル展示コーナー

4 | SPORTEC 2022



■SPORTEC 2022

- 日 時:2022年7月27日(水)～29日(金)
- 場 所:東京ビッグサイト 東1～3ホール
- 主 催:SPORTEC実行委員会
- 共 催:一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 ほか
- 来場者:29,182名(3日間)

【7月27日(水)】

- ＜原田会長 基調講演＞
- ＜第10回スポーツ振興賞 授賞式＞
- スポーツ振興賞受賞者による発表とディスカッション(会場内ブースにてパネル展示)

【7月28日(木)】

- JSTA 協力:「スポーツによる地域活性化の可能性に迫る」～スポーツ合宿編～
- 登壇者:
 - 小倉 和俊氏 (特非)銚子スポーツコミュニティ 代表、(株)銚子スポーツタウン 代表取締役
 - 川村 亘平氏 (一社)しずおかスポーツプロモーション 専務理事
 - 御前崎スポーツ振興プロジェクト 担当
 - 花岡 利夫氏 東御市長

【7月27日(水)～29日(金)】

- ＜JSTA 会員紹介パビリオン＞JSTA 会員希望者によるポスター掲示・カタログ展示ブース展開



5 | Japan Sports Week 2022



■Japan Sports Week 2022

- 日 時:2022年5月11日(水)～13日(金)
- 場 所:東京ビッグサイト 東7ホール
- 主 催:RX Japan 株式会社 Japan Sports Week 事務局
- 特別後援:一般社団法人日本トップリーグ連携機構
- 来場者:10, 142 名(3 日間)

【5月13日(金)】

＜原田会長 講演＞[これからのスポーツツーリズム]

アフターオリパラのスポーツ地域マネジメント～令和のスポーツまちづくりについて～

【5月11日(水)～13日(金)】

＜JSTA ブース＞JSTA 会員希望者によるポスター掲示・カタログ展示ブース展開



6

JSTA 10周年記念
第11回スポーツツーリズム・コンベンション

○日 時: 2023年3月15日(水) 13時00分～18時00分

※ファムトリップ 10時00分～11時30分

有明アリーナ視察(メインアリーナ、サブアリーナ・場外周辺等)

○場 所: 有明アリーナ サブアリーナ
オンライン(Zoom ウェビナー)

○主 催: 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構

○後 援: スポーツ庁

○協 賛: 株式会社梓設計／SPORTEC(TSO International 株式会社)

○協 力: 株式会社東京有明アリーナ

○ブース出展:

- ・株式会社梓設計
- ・SPORTEC
- ・一般社団法人さいたまスポーツコミッション
- ・一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン
- ・シヤチハタ株式会社
- ・株式会社ゼンリン
- ・地域周遊型・地域探索型イベントプラットフォーム「めぐろーかる」
- ・クリヤマジャパン株式会社
- ・一般社団法人日本スポーツビジョン協会

○申込人数: 現地 161 名／オンライン 134 名

○参加者数: 現地 127 名／オンライン 117 名／関係者等 15 名 <計: 259 名>

○後日配信: Youtube JSTA チャンネルにおいて限定公開(会員・来場者・関係者のみに公開)

<https://www.youtube.com/user/sport2tourism>

○視聴数: 141回(5月9日時点)

2023年 3月15日(水) 有明アリーナ サブアリーナ

会場300名

オンライン500名

事前申込制
先着順

主催：一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）

後援：スポーツ庁 | 協力：株式会社東京有明アリーナ

時間（予定）：13:00-18:00（受付開始12:30）

会場：有明アリーナ サブアリーナ（東京都江東区有明1丁目11-1）

参加費（税込）

会場・オンライン：JSTA正会員・学生 無料 | JSTA賛助会員 1,000円 | 一般 2,000円

※学生参加費について：未就労の中学生/高校生/大学 学部生/大学院生/専門学校生に限り、当日に受付にて有効期限内の学生証を提示することを条件とします。

★JSTA編著「実践スポーツツーリズム」書籍付き特別価格セット(※)

JSTA正・賛助会員 2,500円 | 一般 4,000円 ※書籍は郵送で事前にご送付致します。（送料込）

問い合わせ：一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 03-6441-2045（平日10:00-17:00）

<https://www.sporttourism.or.jp/>

Exhibition

会場内
ブース出展社一覧



JSTA 10TH ANNIVERSARY

第11回 スポーツツーリズム コンベンション



お申込みはこちらから

<https://jstaconvention11.peatix.com/>



15TH ANNIVERSARY
第11回

スポーツツーリズム コンベンション

お申込みは
こちらから



2023年3月15日(水)
有明アリーナ サブアリーナ

ファムトリップ

10:10 有明アリーナ（メインアリーナ）視察 事前申込制先着25名（別途有料：昼食付4,500円<税込>）

開会式

13:00 【主催者挨拶】一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 代表理事 原田 宗彦

13:05 【ビデオメッセージ】スポーツ庁長官 室伏広治氏（予定）

これからのスポーツツーリズム

13:15



キーノートスピーチ「最近の訪日外国人旅行の動向とスポーツツーリズムの可能性」

独立行政法人国際観光振興機構（日本政府観光局） 理事長代理 蔵持京治氏

1968年、東京都生まれ。1992年運輸省（現国土交通省）入省。観光部旅行業課、自動車局旅客課課長補佐、鹿児島県交通政策課長、長崎県警察本部警務部長、朝日製作所情報通信システム社事業開発部担当部長、内閣官房内閣参事官、観光庁観光資源課長、総合政策局交通政策課長、日本政府観光局企画総室長・理事などを経て、2022年7月より理事長代理に就任。

13:45



フォーラム1「次世代型アリーナを中心とした賑わい創出と新たな価値体験の可能性」

トヨタアルパルク東京株式会社 代表取締役社長 林邦彦氏

1964年10月30日生まれ、58歳/1988年三井物産株式会社入社。2010年ベトナム三井物産株式会社 理事 副社長兼コンシューマー事業室GM、2012年三井物産ファシリティーズ（現 三井物産フォーサイト株式会社）取締役就任。2016年よりトヨタアルパルク東京株式会社代表取締役社長に就任。

14:15



フォーラム2「海外事例から紐解くアクティブシティとスポーツツーリズムの融合」

公益財団法人笹川スポーツ財団 特別研究員 本間恵子氏

独立系研究者。笹川スポーツ財団特別研究員。シドニー工科大学で修士（スポーツマネジメント）、東京理科大学で博士（スポーツレジャー研究）取得。マーケティングや政策分析等の仕事をしながら、研究活動を行う。主に、Sport for All、アクティブシティ、サイクルツーリズムについて研究・執筆している。

14:45 休憩

部活動改革における地域の役割

14:55



キーノートスピーチ「運動部活動の地域連携・地域移行と地域スポーツ環境の整備について」

スポーツ庁 地域スポーツ課課長補佐（併）運動部活動改革専門官 田口雅紀氏

北海道大学を卒業後、北海道教育大学勤務。2005年文部科学省へ出向。スポーツ・青少年局において、ナショナルトレーニングセンター整備、オリ・パラに向けた競技力向上担当等を歴任。2015年、スポーツ・青少年局企画課総務係長として、スポーツ庁創設に携わり、2016年北海道教育大学へ出向。2019年スポーツ庁に復帰。参事官（地域振興担当）付専門官として、武道ツーリズム等を担当した後、2022年4月より現職。

15:15



「部活動改革における地域の役割」プレゼンテーション&ディスカッション

総合型地域スポーツクラブ経営コンサルタント。地域課題解決を目的としたスポーツクラブや地域コミッションの設立・経営支援を行うほか、全国のクラブ経営者育成も行っている。



2001年設立。スポーツスクール事業を37都道府県で展開。会員数約6万人で子ども向けでは業界No.1。部活動支援事業は累計977校。登録自治体は24で国内最多実績を誇る。



1965年宮崎県生まれ。鹿児島大学大学院教育学研究科修了。1993年大阪体育大学助手。イリノイ大学、フロリダ州立大学客員研究員を経て現職。専門は、スポーツマーケティング。大学スポーツ協会理事ほか。

一般社団法人ツノスポーツコミッション
理事 宮城亮氏

リーフラス株式会社 代表取締役
伊藤清隆氏

コーディネーター：
大阪体育大学 教授・学長補佐 藤本淳也氏

15:45 休憩

アリーナを核としたまちづくり

16:25



「アリーナを核としたまちづくり」プレゼンテーション&ディスカッション

1960年熊本生まれ。1989年（株）梓設計入社。多数のスタジアム・アリーナ設計を担当。現在、最新スポーツ施設の設計を担うチームのドメイン長を務める。

株式会社梓設計 専務執行役員
スポーツ・エンターテインメントドメイン長
永廣正邦氏



1998年慶應義塾大学卒業後、広告代理店入社。業務の傍ら同大体育会サッカー部コーチや自身で創設したサッカークラブの運営を行う。2019年5月(株)東京有明アリーナを設立。現職に至る。

株式会社東京有明アリーナ
代表取締役社長
人見秀司氏



コーディネーター：
一般社団法人
日本スポーツツーリズム
推進機構 代表理事
大阪体育大学 学長
原田宗彦



町工場を事業承継したのち業態転換によりクラウドソリューションを提供するIT企業として成長。最近では反脱次世代アリーナの運用によるスマートシティの実現やコミュニティ創出の領域を推進。大阪経済大学大学院経営学研究科修了。

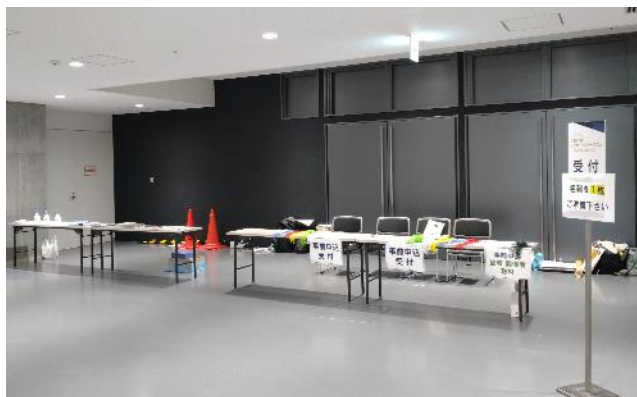
株式会社One Bright KOBE 代表取締役社長
株式会社スマートバリュー 取締役兼代表執行役社長
浪谷順氏



主催：一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 | 後援：スポーツ庁 | 協力：株式会社東京有明アリーナ

記録写真

【受付・会場内】



記録写真

【開会式】 13 : 00

主催者挨拶



ビデオメッセージ スポーツ庁長官 室伏広治氏



MC 高橋友希氏



記録写真

【これからのスポーツツーリズム】 13 : 15

キーノートスピーチ「最近の訪日外国人旅行の動向とスポーツツーリズムの可能性」

独立行政法人国際観光振興機構（日本政府観光局） 理事長代理 蔵持京治氏



フォーラム 1「次世代型アリーナを中心とした賑わい創出と新たな価値体験の可能性」

トヨタアルバルク東京株式会社 代表取締役社長 林邦彦氏



記録写真

フォーラム2「海外事例から紐解くアクティブシティとスポーツツーリズムの融合」

公益財団法人笹川スポーツ財団 特別研究員 本間恵子氏



【部活動改革における地域の役割】 14 : 55

キーノートスピーチ「運動部活動の地域連携・地域移行と地域スポーツ環境の整備について」

スポーツ庁 地域スポーツ課課長補佐（併）運動部活動改革専門官 田口雅紀氏



記録写真

「部活動改革における地域の役割」プレゼンテーション&ディスカッション



- ・一般社団法人ツノスポーツコミッション
理事 宮城亮氏
- ・リーフラス株式会社 代表取締役 伊藤清隆氏
- ・スポーツ庁 地域スポーツ課課長補佐（併）
運動部活動改革専門官 田口雅紀氏

＜コーディネーター＞

大阪体育大学 教授・学長補佐 藤本淳也氏



記録写真

【アリーナを核としたまちづくり】 16 : 25

「アリーナを核としたまちづくり」プレゼンテーション&ディスカッション



- ・株式会社梓設計 専務執行役員
プリンシパルアーキテクト
スポーツ・エンターテインメントドメイン長
永廣正邦氏
- ・株式会社東京有明アリーナ 代表取締役社長
人見秀司氏
- ・株式会社 One Bright KOBE 代表取締役社長
株式会社スマートバリュー
取締役兼代表執行役社長 渋谷順氏

＜コーディネーター＞

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構
代表理事
大阪体育大学 学長
原田宗彦



記録写真

【ファムトリップ】 10 : 00～11 : 30

有明アリーナ視察（メインアリーナ、サブアリーナ・場外周辺等）

ご案内：株式会社東京有明アリーナ 代表取締役社長 人見秀司氏

昼食会場：有明アリーナダイニング MOON RIVER



【会場内ブース出展】



7 | JSTAウェビナー



2022年度 第1回 JSTA ウェビナー

『実践 スポーツツーリズム』出版記念セミナー」

日 時: 2022年9月16日(金) 16:00～17:00

会 場: オンライン形式 (Zoom ウェビナー)



○登壇者

- (1) 原田宗彦 (大阪体育大学 学長、JSTA 代表理事)
- (2) 押見大地 (東海大学 体育学部 スポーツ・レジャーマネジメント学科 准教授)
- (3) 藤原直幸 (JSTA 地域スポーツ戦略ディレクター)
- (4) 滝田佐那子 (JSTA 地域スポーツ戦略プランナー)

2022年度 第2回 JSTA ウェビナー

「デジタルまちあるきを活用した地域活性化～歩くモチベーションを産み出すスポーツツーリズム」

日 時: 2022年11月2日(水) 14:00～15:30

会 場: オンライン形式 (Zoom ウェビナー)

○登壇者

イントロダクション

川杉 章 氏

JSTA セミナー委員

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

事業共創部プロデュース局エグゼクティブプロデューサー

講演①

廣場 啓祐 氏

ソフトバンク株式会社 公共事業推進本部 公共事業推進統括部 事業開発部 部長

兼) サービス企画本部 コンテンツ推進統括部 メタバース・NFT 部 担当部長

一般社団法人 おもてなし ICT 協議会 副理事長

講演②

米田 大典 氏

株式会社 膝栗毛 代表取締役社長

三菱地所株式会社 新事業創造部 兼 コンテンツビジネス創造部



2022年度 第3回 JSTA ウェビナー

「官民連携で河川を魅力的な空間に！『かわまちづくり』支援制度と水辺資源を活かしたスポーツツーリズム」

日 時: 2022年12月12日(月) 14:00～15:05

会 場: オンライン形式 (Zoom ウェビナー)

○登壇者

講演①

村山 弘晃 氏

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 課長補佐



講演②

古賀 智志 氏

一般社団法人土佐町スポーツコミッション 専務理事／事務局長



スポーツ庁は、地域ＳＣの共通の課題である「質的な向上」、具体的には「経営の安定」と「運営の基盤人材の育成・確保」の２点について第３期スポーツ基本計画に基づき、取組を推進していくため、地域ＳＣの運営の基盤人材の育成・確保に関する調査・研究を委託事業を公募した。

２月下旬に開始した公募にＪＳＴＡは応札し、４月１５日に受託候補者に決定した旨の連絡を受けた。

1. 担当部局

スポーツ庁 参事官（地域振興担当）付地域振興係

2. 業務名

地域スポーツコミッション基盤人材育成サポート事業

3. 委託期間

2022年４月８日（金）から2023年３月３１日（金）まで

4. 業務内容

（１）事業の進捗管理及びアウトプット作成支援等

事業を効果的に行うための事前準備、補助事業者からの意見・照会等に対応する一元的な窓口の設置及びノウハウの蓄積、（２）のコンサルティングの進捗管理及び定期報告、他の地域への横展開を促進するための効果的なアウトプット作成支援等。

（２）地域ＳＣの経営多角化及びホストタウン等の地域ＳＣへの転化（設立）に向けた総合コンサルティング

- ① 地域ＳＣの経営多角化に向けたコンサルティング
- ② 地域ＳＣのオリパラ・レガシーへの転化（設立）促進に向けたコンサルティング
- ③ 横展開を図るための手引き・ナレッジ集の作成

（３）地域ＳＣに関わる人材及び育成サポートの調査・分析

- ① 地方創生・まちづくりに関わる人材の全体像把握調査
- ② 地方創生・まちづくりに関わる人材の調査分析・課題抽出・対応策検討
- ③ 運営を担う基盤人材の確保及び育成に向けて実証案の提示

（４）シンポジウム等の開催による対外的な発信

5. 実施体制

JSTA で実施

6. コンサルティング対象自治体及び団体

転化（設立）支援の採択自治体

自治体名	人口（人）	団体名称（設立時）
宮城県石巻市	136,591	いしのまきスポーツコミッション
神奈川県松田町	10,475	まつだスポーツコミッション
鹿児島県大崎町	12,342	スポーツ観光おおさき
沖縄県石垣市	48,914	石垣島スポーツコミッション

経営多角化支援の採択コミッション

自治体名	人口（人）	団体名称
北海道壮瞥町	2,356	そうべつアウトドアネットワーク
北海道美瑛町	9,551	美瑛エコスポーツ実践会
北海道名寄市	26,000	Nスポーツコミッション
秋田県大館市	67,962	スポーツコミッション大館
茨城県笠間市	71,783	一般社団法人笠間スポーツコミッション
山梨県韮崎市	28,259	韮崎市スポーツコミッション
長野県長和町	5,738	長和町スポーツコミッション
長野県軽井沢町	21,464	軽井沢カーリング活性化プロジェクト推進委員会
静岡県	3,571,445	静岡県西部地域スポーツ産業振興協議会
静岡県御殿場市	82,923	御殿場市スポーツタウン推進連絡会
愛媛県	1,301,125	愛媛県自転車新文化推進協会
高知県	672,724	一般社団法人高知県スポーツコミッション
佐賀県武雄市	18,857	SAGA 武雄温泉スポーツコミッション
沖縄県沖縄市	142,678	沖縄市スポーツコミッション

7. 成果物（スポーツ庁ホームページ掲載）

「令和4年度コミッションに対する総合的なコンサルティング報告書」

https://www.mext.go.jp/sports/content/20230417-spt_stiiki-300000925-1.pdf

「令和4年度地域スポーツコミッション データ&ナレッジ」

https://www.mext.go.jp/sports/content/20230424-spt_stiiki-300000925-2.pdf

「地域スポーツコミッションインタビュー集」

https://www.mext.go.jp/sports/content/20230424-spt_stiiki-300000925-3.pdf

栃木県公募事業『「とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略（仮称）」策定に係る基礎調査及びマーケティング戦略案作成業務』を（株）JTB 宇都宮支店と JSTA の共同事業体で受託し、JSTA は基礎調査と戦略策定業務を担当した。

1. 担当部局

栃木県教育委員会事務局スポーツ振興課

2. 業務名

「とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略（仮称）」策定に係る基礎調査及びマーケティング戦略案作成業務

3. 委託期間

2022 年 7 月 8 日（金）から 2023 年 3 月 24 日（金）まで

4. 業務の目的

・本県は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックやいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催によってスポーツに対する県民の機運向上に加え、充実したスポーツ環境を背景に、スポーツを通じた未来の地域づくり等の取組を実施する絶好の機会にある。

・このため、新たに「とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略（仮称）」（以下「推進戦略」という。）を策定し、スポーツを通じた地域活性化等に取り組むこととしており、具体的には、大規模大会やスポーツ合宿等の誘致、県内観光資源とスポーツを融合させたスポーツツーリズムの推進などに積極的に取り組んでいく考えである。

・そのため、本県のスポーツ環境や全国の大規模大会開催状況等に関する基礎調査を行い、調査結果を踏まえた推進戦略の策定を支援するとともに、県内外の交流人口の拡大に向けた取組を効果的に進めるためのスポーツコミッションの設立に関し、設立後に取り組むべき内容や手法等を提案することを目的とする。

5. 業務内容

(1) 推進戦略の策定に必要な基礎調査・分析

(2) スポーツコミッション設立後に取り組むべきマーケティング戦略案の作成

6. 成果物

本業務における、基礎調査やマーケティング戦略案を基に令和5年3月28日「とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略」が策定された。

栃木県ウェブサイト（更新日：2023年3月29日）

〇とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略の策定及び同戦略案に対するパブリック・コメント（県民意見の募集）の実施結果について

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/m07/sportskaseika.html>

〇とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/m07/documents/20230327163538.pdf>

〇とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略・概要

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/m07/documents/20230327163502.pdf>

とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略 概要

I 策定の趣旨・目的、期間

〇42年ぶりに開催されたいちご会とちぎ国体、本県初開催のいちご会とちぎ大会の有形・無形のレガシーを継承し、「新しいとちぎ」づくりにどのようにつなげていくかが課題

〇本県のスポーツを活用した地域活性化の推進に向けて、県として取り組むべき施策の方向性の提示

〇期間 令和5（2023）～7（2025）年度（3年間）

II 本県におけるスポーツを取り巻く状況

1 県内の状況

- (1)東京2020オリンピック・パラリンピック及びいちご会とちぎ国体・とちぎ大会の開催によるスポーツに対する県民の機運向上と「新しいとちぎ」づくりへの期待
- (2)県民総スポーツの推進拠点たる「総合スポーツゾーン」の完成
- (3)県内プロスポーツ、社会人・学生スポーツの活躍と有望選手の輩出
 - ・宇都宮ブレックス、LIEBE 栃木、グラクソ・スミスクライン、白鷗大学バスケット、國學院栃木高ラグビー、足大附高弓道の活躍
- (4)全国から参加者が集まる民間主導による県内スポーツイベントの開催
 - ・日光国立公園マウンテンランニング、那須高原ロングライド 等
- (5)スポーツによる地域活性化に取り組む県内自治体の登場
 - ・宇都宮市（戦略）、矢板市（コミッション設立）、栃木市（計画）、小山市・野木町（イベント）
- (6)市町や民間との連携による県域レベルのスポーツイベントの展開
 - ・ツール・ド・とちぎ〜ぐるとち（2022）開催

2 全国状況

- (1)スポーツツーリズムに対するニーズの高まり
 - ・国「スポーツツーリズム推進基本方針」の策定（2011）
- (2)国による第3期スポーツ基本計画の策定
 - ・東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーの継承・発展に資する重点施策の1つとして「地方創生・まちづくり」
- (3)他団体のスポーツコミッションの設立等による地域活性化の推進
 - ・地域スポーツコミッションの設立数 177 団体（R3.10 現在）

3 本県のスポーツを活用した地域活性化に向けた強みと今後の課題等

- (1)地理的・文化的特性 ①恵まれた立地環境 ②豊富な自然資源（温泉利用宿泊施設数全国9位） ③地域に根差した歴史・文化、食
- (2)県内のスポーツ資源

①スポーツ施設・公共施設 1,032 カ所、民間スポーツ施設 638 カ所 ・本県スポーツ施設提供業 人口 10 万人当たり 17.5 カ所（全国最多）
・国体本大会と冬季大会両方の開催実績 ・利用状況 1,100 万人程度（～H30）で推移→500 万人を下回る水準（R2）

※スポーツ関係施設 とちぎスポーツ医科学センター設置（令和2（2020）年）

➡（独法）日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンターネットワーク連携機関に指定（全国で9公共施設及び8大学のみ）

- ②プロスポーツチームの状況 6競技8チームが存在（プロがある競技数 全国トップレベル）
- ③県内開催の主なスポーツ大会・イベント 38競技99大会（2019～21） ・大会を契機として本県の魅力ある食や農、文化等につながる取組の必要性
- ④県内スポーツ会館の実施状況 ・水泳飛込競技日本代表合宿（日環アリーナ栃木） ・知的障害者サッカー日本代表候補強化合宿（さくらスタジアム）等
- ⑤地域に根づくスポーツ文化 足利市（レスリング）、大田原市（相撲）、矢板市（サッカー）、日光市（ホッケー）、佐野市（クリケット）等
- ⑥スポーツ・アクティビティの提供状況 県内各地におけるラフティングやカヌー、SUP、トレッキングやハイキング、キャニオニングなど、豊富な自然等を生かした魅力的なスポーツ・アクティビティの存在
- (3)本県への観光客入込動向 減少した国内外の観光客の呼び戻しに向けた態勢整備の必要性 観光客入込数 95,436千人(H30(2018))→ 64,138千人(R3(2021))
- (4)いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の有形・無形のレガシーの継承

【国際オリンピック委員会の分類を参考とした整理】

区 分	内 容	いちご一会とちぎ国体等のレガシー
スポーツ レガシー	スポーツ実施人口の変遷や スポーツ環境の変化など	●する、みる、ささえる様々な形でスポーツ参画人口の拡大 ●充実したスポーツ施設 ●スポーツ及びパラスポーツへの関心の高まり 等
社 会 レガシー	官民一体の体制づくり、オリ ンピック・パラリンピッ ク教育の推進など	●官民一体となったいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会による運営体制・ノウハウの構築 ●両大会への企業協賛等スポーツへの社会的理解の促進 ●いちご一会運動オールとちぎプロジェクトや航空会社職員によるおもてなし研修会の開催等による県民総参加でのおもてなしの醸成 ●障害及び障害者並びに障害者スポーツへの理解促進 ●デモンストレーションスポーツへの参加等を通じた健康づくりへの意識の高まり 等
環 境 レガシー	都市再生、再生可能エネル ギーなど	●県内企業の技術力を生かした取組（再生PET素材のユニフォーム等）やCO2フリーの「とちぎふさと電気」の活用、FCV、EVを活用した電力供給による環境配慮の取組の一層の推進 等
都 市 レガシー	公共交通インフラの整備、 バリアフリー化など	●スポーツ施設、宿泊施設等のバリアフリー化 ●国体会場近隣での栃木県ABCプロジェクトの実施による新たな公共交通に向けた機運の高まり 等
経 済 レガシー	雇用創出やテクノロジーの 発達など	●国体等の開催を契機とした新たな雇用、全国から来県した選手等による交通、飲食等の消費増加 ●とちぎおもてなし電子クーポンの発行等による新たな栃木ファンの獲得 等

2

(5)スポーツを活用した地域活性化に向けたSWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内 部 環 境	【強み (Strength)】 ○東京圏からのアクセスの良さ ○充実したスポーツ施設 ○多くの競技における地域に密着したプロスポーツチームの存在 ○とちぎ医科学センターによるパフォーマンス向上につながる充実したサポート ○温泉、農産物、伝統工芸品、歴史・文化等の多様な地域資源 ○山や川、湖など豊富な自然を生かした県内各地で行われるアクティビティ 等	【弱み (Weakness)】 ○スポーツと観光や農業、文化など他産業とつなげる組織がない ○スポーツを生かした地域活性化、地方創生等に向けた人材・情報不足 ○本県スポーツ施設等の利活用推進に向けた情報発信の不足 ○スポーツを「する」「みる」「ささえる」それぞれを目的とする旅行者等の受入環境の整備不足 等
外 部 環 境	【機会 (Opportunity)】 ○東京オリパラや世界陸上等の開催によるスポーツの機運向上 ○ワーケーションや多様な働き方の推進等新しい生活様式の定着 ○デジタル社会の進展による迅速で広範なPR機会の確保 等	【脅威 (Threat)】 ○少子・超高齢化社会の到来や社会的人口移動等による人口減少による担 い手やスポーツ活動の需要の不足 ○新型コロナウイルス感染症によるスポーツマインドの低下 ○他自治体によるスポーツツーリズムの推進による競争の発生 等

【強みを最大限に生かした取組】

スポーツツーリズムによる地域活性化の推進
 ○スポーツイベント・大会・合宿等の誘致 ○スポーツやアクティビティを目的とする来県増加 等

(6)様々な地域別特徴を生かした取組（日光、那須、県央、県東、県南エリア）

(7)県内スポーツツーリズムに対するニーズ・期待等 ①スポーツを見ることへの関心の高まり ②県民のスポーツツーリズムへの期待等

Ⅲ スポーツを活用した地域活性化・地方創生等の目指すべき姿

- スポーツと組み合わせた観光・地域づくり等の推進により県内にスポーツツーリズムが普及し、県内外の交流人口の拡大を通じ、にぎわいにあふれ、地域が活性化
- 高齢者、女性、子ども、障害者など誰もが健康でいきいきと暮らし活躍 ○スポーツを通じたとちぎのブランド力向上が図られ、県民がふるさとに愛着や誇り

Ⅳ 本県のスポーツを活用した地域活性化・地方創生等の具体的な取組

1 スポーツツーリズムの推進による地域活性化・地方創生への取組

(1) スポーツコミッションの設立

【KPI①：地域スポーツコミッションの設立】1団体（2023年度）

- 大規模大会やスポーツイベント等の戦略的誘致等に向けた体制整備
- 専門性が高く、戦略的な体制の構築とともに、将来的な自走を念頭に置いた人材育成等への取組
- スポーツ振興課の教育委員会事務局から知事部局への移管による観光、文化等と一体となったスポーツツーリズムの推進しやすい体制への移行

3

- 【2】大規模大会・スポーツイベント等の誘致 【KPI②：大規模大会や国際大会の誘致】複数回誘致（2025年度までに）
 ○スポーツコミッションによる情報収集、施設調整、開催費用の一部助成等の各種支援 ○スポーツイベントの類型化、対象の絞り込み、ターゲット及び開催に必要な項目等の明確化 ○新リーグの設立や（一社）大学スポーツ協会など、新たなスポーツ振興の枠組みに着目
- 【3】スポーツ合宿等の誘致 【KPI③：スポーツ合宿等の相談団体数】300団体（2025年度）
 ○宿泊費用の一部助成、高い競技力を有する県内スポーツ団体等を活用した練習相手の確保支援や合宿地におけるおもてなし、とちぎスポーツ医科学センターにおけるトレーニングメニューの提案など合宿地として選ばれる仕組みづくり、円滑な実施に向けた各種支援
 ○県内団体によるA1や5Gなど未来技術を活用した最先端のトレーニング環境の整備 等
- 【4】テーマ別スポーツツーリズムの推進
 ○サイクルツーリズム 「栃木県自転車活用推進計画」に基づく取組
 ○アウトドアツーリズム 新とちぎ観光立県戦略に基づくアウトドアコンテンツ造成・磨き上げの促進
 ○ゴルフツーリズム 10万人当たり施設数は全国最多（県内ゴルフ場数153（全国第3位））とちまるゴルフクラブ（県民ゴルフ場）利用者数過去最高38,193人
 ○新たなテーマ別ツーリズムの検討 競技特性やニーズを捉えた新たなテーマの検討
- 【5】スポーツと組み合わせた観光・地域づくり等の推進
 ○スポーツ大会等での食や文化等の発信やデジタルマーケティングの活用 ○地域資源に触れる機会の創出 ○グリーンツーリズムとの連携
 ○アーバンスポーツ（スケートボードやBMX、スポーツクライミング等）への期待 ○県営都市公園の利活用推進 ○Eバイクの活用等による周遊観光の推進
 ○市町で行われた競技の定着 ○eスポーツの活用（とちぎeスポーツフェスタ（仮称）等の開催）
- 【6】県民協働によるスポーツツーリズムの推進 【KPI④：いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会レガシー基金への寄附の件数】50件（2025年度までに）
 ○スポーツボランティアの育成 ○いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会レガシー基金の設置による県民等からの寄附の受入れによる施策への反映
- 2 社会的な課題に係るスポーツコミッションによるデジタルも活用した県外への情報発信等
 「スポーツへの関心の高まり」を生かした社会的な課題の認知度向上、理解促進等
 (1) スポーツを通じた高齢者の生きがいづくり (3) スポーツを通じた障害及び障害者への理解促進、共生社会の実現
 (2) スポーツを通じた女性活躍の促進 (4) スポーツを通じた健康増進
 ・陸上競技男女混合4×400mリレーなど新しい男女混合種目の登場を契機とした人々の意識の変革

V スポーツを活用したSDGsへの貢献

No.	項 目	関連するゴール
1	スポーツツーリズムの推進による地域活性化・地方創生への取組	4 質の高い雇用と経済的繁栄、6 安全な水とトイレの持続可能なインフラ、8 持続可能な産業と雇用、11 持続可能な都市とコミュニティ、15 陸域生態系の保護、17 パートナリーシップを強化する
2	社会的な課題に係るスポーツコミッションによるデジタルも活用した県外への情報発信等	3 健全な生活、5 性別平等、10 人や国の不平等の削減、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費と生産

VI とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略の推進体制及び進行管理

引用：とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略・概要

10 | ヘルスツーリズム認証



スポーツ/アクティビティはヘルスツーリズム・プログラムの重要な構成要素であるとして、JSTA は 2018 年より、「ヘルスツーリズム認証」を交付するヘルスツーリズム認証委員会を運営メンバーに参画している。

＜ヘルスツーリズム認証委員会共同運営組織＞

特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構



○ヘルスツーリズム認証とは



- ・旅の楽しみに健康へのケアをプラス。ヘルスツーリズム認証は、[旅と健康]という新しい視点から観光商品を客観的に評価する第三者認証サービス。
- ・ヘルスケアサービスの品質を「見える化」。
- ・品質保証が、消費者にもプログラム提供者にもメリットをもたらす。
- ・認証マークで旅の楽しみに付加価値をプラスする。

※初回認証から 3 年間有効(更新後は 2 年間有効)。

認証取得後、1 年ごとに認証体制が維持されていることを確認するためにサーベランス審査を行う。

また、認証の更新可否を判断するため初回認証取得から 3 年後に更新審査を行う。

ヘルスツーリズム認証 プログラム一覧 (2023 年 4 月末)

都道府県	市町村	プログラム名	事業所名
青森	青森市	あおもりベイタラソウォーク&ヨガ	株式会社ブルーモリス
	青森市	OWANI 阿闍羅の修験道スノーハイクと温浴体験	株式会社ブルーモリス
	五所川原市	DAZAI健康トレイル 青森ひばの神木コース	一般社団法人かなぎ元気村
秋田	三種町	秋田犬と散歩(健康ウォーキング)	一般社団法人ヘルスデザイン秋田
	三種町	じゅんさい摘み採り体験	一般社団法人ヘルスデザイン秋田
山形	上山市	クアオルト健康ウォーキング(空色・暮色ウォーキング)	一般社団法人上山市観光物産協会
	上山市	クアオルトバランス膳・早朝ウォーキング	有限会社彩花亭時代屋
	上山市	クアオルトこんにやく会席箱膳	株式会社丹野こんにやく
	上山市	クアオルトかみのやま会席	株式会社月岡ホテル
福島	棚倉町	ヘルスコンシヤスプラン	株式会社ルネサンス棚倉
	北塩原村	多様な水辺・命の森裏磐梯へようこそ	特定非営利活動法人裏磐梯エコツーリズム協会
群馬	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム「ノ倉沢ハイキング」	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム「スノーシューハイキング」	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム「ノルディックウォーク たくみの里コース」	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム「ノルディックウォーク 湯宿温泉コース」	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム「ノルディックウォーク 谷川岳・一の倉沢コース」	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム「リバーラフティング」	一般社団法人みなかみ町体験旅行
千葉	南房総市	癒しの森のセラピーウォーキング	一般社団法人南房総市観光協会
神奈川	横浜市	ウォーク・ア・マイル(飛鳥Ⅱ 船上プログラム)	郵船クルーズ株式会社
新潟	妙高市	妙高型健康保養地プログラム	一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント
富山	富山市	とやま健泊@立山山麓	株式会社アピアスポーツクラブ
石川	小松市	楽しく歩ける”生涯スポーツゴルフ”と”心と体の食” 再発見の旅	北國リゾート開発株式会社
長野	飯山市	なべくら高原 森林セラピー散策	一般社団法人信州いいやま観光局
	茅野市	健康いきいき診断プログラム 体力年齢アップ健康運動コース	株式会社池の平ホテル&リゾート
	木曽町	木曽開田高原健康ウォーキング	一般社団法人木曽おんたけ健康ラボ
三重	明和町	ココロとカラダを整える「大淀海岸タラソセラピーウォーク」	一般社団法人明和観光商会
	熊野市	不老不死伝説の旅 三重県熊野市	熊野の宿 海ひかり (株式会社河上)
京都	京丹後市	海の京都「百寿人生のレシピ」体感プログラム	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社
大阪	高槻市	サンスター心身健康道場一日体験	サンスター株式会社
兵庫	神戸市	ウェルネスウォーキング	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	乳がんリハビリヨガ	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	体力測定・運動能力チャレンジプログラム	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	ランニングクリニック	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	多可町	「不良長寿の道」多可の森健康ウォーキング	一般社団法人多可の森健康協会
熊本	菊池市	阿蘇くじゅう国立公園 菊池溪谷散策ツアー	一般社団法人 菊池観光協会
	南阿蘇村	大自然阿蘇健康の森 基本プラン3泊4日	株式会社阿蘇ファームランド
大分	竹田市	こころ・からだ よみがえる 健康ながゆ旅	特定非営利活動法人竹田市観光ツーリズム協会
沖縄	南城市	逃げ旅シリーズ 聖地リトリート	イーストホームタウン沖縄株式会社

11 千代田ツーリズムイノベーションベース (CTIB)



JSTA 事務局が入居している千代田区公共施設「万世橋出張所・区民館」の 5 階部分は、(一社)千代田区観光協会より観光関連事業を目的とした運用が可能な法人・団体に対して、JSTA が 1 フロアを貸付されており、2021 年 4 月よりツーリズム推進組織や関連事業者の拠点として「千代田ツーリズムイノベーションベース」(略称:CTIB)を運営している。

JSTA 会員、千代田区観光協会会員が優先的に利用できるスペースのほか、同所を通じて JSTA 会員と千代田区の観光に関連する組織間マッチングなど情報発信の場として活用していく。

○事業一覧

月	場所	実施内容
5 月	シェアスペース	千代田区観光協会打合せ
6 月	シェアスペース	千代田区観光協会打合せ
9 月	シェアスペース	千代田区観光協会打合せ
10 月	5 階・シェアスペース	千代田区商工観光課・千代田区観光協会 施設確認立会い

○施設利用状況(全 5 室)

501	502	503	504	シェアスペース (JSTA を除く年間利用件数)
入居中	JSTA 事務局	入居中	入居中	25 件



5 階テラス



シェアスペース<デスク A>



シェアスペース<全スペース>

○両会員による事業連携

千代田区観光協会が「東京マラソン EXPO2023」(2023 年 3 月 2-4 日:東京ビッグサイト) 出展するにあたり、ブース展開時のコンテンツとして JSTA 法人会員の株式会社 JTB コミュニケーションデザインと千代田区観光協会会員の三菱地所株式会社が手掛ける、街歩きアプリ「膝栗毛」を活用。

「膝栗毛」内には、既存コンテンツとして皇居や丸の内など千代田区内の周遊コースやポイントが多数収録されているため、東京マラソンで訪れるランナーに「膝栗毛」のダウンロードを PR し、マラソン前後の千代田区内観光の促進につなげた。



12 YouTube チャンネル（動画配信の活用）



セミナー、コンベンション等のアーカイブ動画のほか、新規会員の紹介プレゼンテーション動画など YouTube を活用した情報発信を行っている。

○YouTube チャンネル URL

<https://www.youtube.com/sport2tourism>

○2022 年度新規会員紹介（収録と公開は希望があった法人・団体のみ）

- ・株式会社 トウショク
- ・株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

13 | 2022年度 JSTA 会員一覧



法人		公益法人	
1	株式会社梓設計	1	特定非営利活動法人出雲スポーツ振興 21
2	EY アドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社	2	公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構
3	株式会社 ADK マーケティングソリューションズ	3	一般社団法人ウェルネススポーツ鴨川
4	株式会社 HM-A	4	一般社団法人宇部市スポーツコミッション
5	株式会社近宣	5	一般社団法人 エス・インパクト
6	株式会社クラブビジネスジャパン	6	大分県スポーツ合宿誘致推進協議会
7	クリヤマ株式会社	7	おかやまスポーツプロモーション機構
8	株式会社クリーン工房	8	一般財団法人関西観光本部
9	クロススポーツマーケティング株式会社	9	郡上市スポーツコミッション
10	株式会社ジェイアール東日本企画	10	一般社団法人九州スポーツツーリズム推進協議会
11	Japan Sports Week 事務局	11	全国ご当地マラソン協議会
12	株式会社 JTB	12	一般社団法人さいたまスポーツコミッション
13	株式会社 JTB コミュニケーションデザイン	13	静岡県西部地域スポーツ産業振興協議会
14	清水建設株式会社	14	静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会
15	SPORTEC 株式会社	15	スポーツコミッション青森
16	株式会社セレスボ	16	スポーツコミッション関西
17	株式会社ゼンリン	17	スポーツコミッションせんだい
18	株式会社ダスキン	18	一般社団法人世羅町観光協会
19	テレビ愛知株式会社	19	特定非営利活動法人地域政策イノベーションフォーラム
20	東亜道路工業株式会社	20	一般財団法人千葉県まちづくり公社
21	株式会社トウショク	21	一般社団法人日本チャレンジゴルフツアー協会
22	東武トップツアーズ株式会社	22	特定非営利活動法人銚子スポーツコミュニティ
23	凸版印刷株式会社	23	一般社団法人千代田区観光協会
24	日本航空株式会社	24	一般社団法人ツノスポーツコミッション
25	株式会社日本総合研究所	25	十日町市スポーツコミッション
26	株式会社日本旅行	26	一般社団法人土佐町スポーツコミッション
27	株式会社八咲	27	公益財団法人とっとりコンベンションビューロー
28	BALUE 株式会社	28	特定非営利活動法人トップスポーツコンソーシアム秋田
29	ピークス株式会社	29	長崎県スポーツコミッション
30	株式会社ヒト・コミュニケーションズ	30	長和町スポーツコミッション／信州・長和町観光協会
31	株式会社フューチャーセッションズ	31	公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー
32	株式会社ブリックス	32	名古屋スポーツコミッション
33	株式会社マイナビ	33	新潟市文化・スポーツコミッション
34	ミズノ株式会社	34	一般社団法人日本イベント産業振興協会
35	株式会社モンベル	35	一般社団法人日本ゴルフツーリズム推進協会
		36	特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構
		37	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー
		38	前橋スポーツコミッション
		39	一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン

自治体		スポーツ団体	
1	愛知県	1	MLB JAPAN
2	市原市	2	沖縄県サイクリング協会
3	岩手県（いわてスポーツコミッション）	3	世界野球ソフトボール連盟（WBSC）
4	上田市	4	公益財団法人全日本空手道連盟
5	大館市	5	一般社団法人日本ウォーキングサッカー協会
6	岡山市	6	公益社団法人日本オリエンテーリング協会
7	鹿児島市	7	一般社団法人日本スノースポーツ&リゾーツ協議会
8	金沢市（金沢文化スポーツコミッション）	8	公益社団法人日本トライアスロン連合
9	香美町	9	一般社団法人日本バレーボールリーグ機構
10	岐阜県	10	日本フリースタイルフットボール協会
11	熊谷市（熊谷スポーツコミッション）	11	PSA ASIA （プロスノーボーダーズ アソシエーション アジア）
12	くまもと旅スポコミッション（熊本県）		
13	佐賀県（佐賀県スポーツコミッション）	12	リアル野球盤協会
14	札幌市		
15	静岡県		
16	大仙市（大仙市スポーツツーリズムコミッション）		
17	千歳市		
18	千葉市		
19	鳥取県		
20	豊岡市		
21	豊田市		
22	長野県		
23	成田市		
24	新潟県		
25	蕨崎市		
26	浜松市		
27	姫路市		
28	豊後大野市（豊後大野市スポーツツーリズム推進協議会）		
29	三島市		
30	水戸市		
31	水俣市（スポーツコミッションみなまた）		
32	盛岡広域スポーツコミッション		
33	矢板市		
34	山梨県		
35	由利本荘市（由利本荘市スポーツ・ヘルスコミッション）		
36	横浜市		

2023 年 3 月現在

法人会員・スポーツ団体・公益法人・自治体のみ掲載

